日里雅至〔民主クラブ〕

雨水幹線整備は

問　無頭川の整備方針と改修方法について。

答　無頭川は旧普通河川を雨水幹線として使用しており、多くの部分が積みブロック護岸で構築されており、加えて老朽化が進んでいる状況で補修改修の必要が生じている。今後は抜本的な改修を行う必要性があると考えている。改修方法は開渠のまま積みブロック構造を三面張り構造に、市街地の居住地域は、ボックスカルバート構造など暗渠とし、雨水幹線の上を有効活用が可能な箇所については暗渠による改修を行い、活用方法は地域の特殊性に合わせていく。これらの整備手法、補助制度については関係機関と協議中であり無頭川の改修は計画的に進める。

公共施設の防犯対策は

問　防犯カメラ設置について。

答　市の施設で防犯カメラが設置しているのは、富良野小学校、麻町・中央保育所、東西自由通路、車両センターの5か所であり、建設が進んでいる東小学校、まちなか保育所へも予定している。

問　計画的に防犯カメラを整備する考えは。

答　防犯カメラの設置は犯罪抑止効果がある一方、監視カメラ化の懸念、プライバシーの侵害等負の側面もあるので、不特定多数が出入りする公共施設で、画一的に設置することには課題があると考えるが、今後防犯の視点、費用対効果等総合的に判断し防犯上特に必要である場合は適切に対応していく。

雨水幹線（無頭川）

渋谷正文〔ふらの未来の会〕

サイクリング観光の取り組み

問　富良野は施設環境やスタッフ体制など、国内外観光客の受入れに対応されており、これらの知識と経験がサイクリング観光の受入れに活かすことができると考える。ソフト・ハード面での課題と現状認識を伺う。

答　現在、富良野美瑛地域では、雄大な山岳景観や田園風景を活かしたサイクリング観光を進めている。地元の親子を対象としたサイクリング教室を開催するなど、サイクリングを楽しむ市民の拡大やマナー向上に向けた取り組みを進めている。更にマップの作成やサイクルラックの配置など、市民や観光客が気楽にサイクリングを楽しむことができる環境整備に努めている。

　一方、国内外の観光客に対応できるガイドの育成、案内看板の整備、トラブル時の対応等に課題がある。サイクルレーン及び看板設置や道路側帯の改良等への支援に向けた要望書を観光庁長官に提出し、今後も課題の解決に向けて取り組みを進める。

問　沿線町村との連携の下、今後の取り組みは。

答　富良野美瑛広域観光推進協議会に、今年度よりサイクルツーリズム部会を設置し、サイクリングを楽しむための環境整備について議論を進めている。

　今後の方向性は、既存ルートに加え広域にまたがる新たなルート設定を行い、情報の集約と発信を広域的に連携して進め、観光関係団体、道路管理者、警察などとの意見交換を行う。

サイクリングを楽しむためのサイクルラックの整備

〈その他の質問〉
・人口減に対する備え、考え方
・農のある暮らし